

とれたて！ くれよんばたけ！・あき

森のくれよん2024 11月活動報告
日程：11月3日(日) 場所：うつぐみの郷

① 今月は、秋の『うつぐみの郷』で、【芋ほり体験】！道中のバスの車内では、さつまいもに関するクイズや歌を歌って盛り上がりました。二時間半ほどかけて施設に到着です。昨日の大雨から一転し、とても良いお天気なので、昼食は外にシートを広げて食べよう。お昼ご飯でエネルギーをチャージしたら、準備をして畑へ向かうよ。今年の六月にみんなで植えたさつまいもの苗が、のびのびと育てて実をつけているね。スコップを手に、畝に並ぶよ。茎が太いものを選ぶと大物が掘れるかも！？さあ、芋ほりを楽しもう！



おいもゲット！



② 一人一つ食べ頃のお芋を収穫出来たら、【焼き芋】にする準備を進めよう。お芋をよく濡らして包むのがポイントだよ。かまどに入れたら後は出来上りを待つだけ。その間に、残っているお芋を全て掘り起こそう！みんなの力の見せ所だね。協力して頑張ろう！！

③ 畑から戻ってくると、さつまいもが良い具合に焼きあがったよ。一つのお芋が大きいので、お友達やリーダーと分け合って食べよう。割って中を見てみるとホクホクの黄金色！みんなでいただきます～す！自分達で掘ったお芋は格別に美味しいね。そして、収穫を頑張ったご褒美に、マッシュマロ焼きも楽しもう。お腹いっぱいになったら、荷物をまとめて【うつぐみの郷】にさようなら。帰りのバスの中でもみんな元気いっぱい、ビデオ鑑賞などを楽しみながら帰路に就きました。



いただきます～す！



恒例となっているうつぐみの畑プログラムですが、その魅力の一つとして、【異年齢交流】が挙げられます。小学生も参加可としており、今回も一人ご参加いただきました。その方は、小学生のみの活動の中ではまだまだ“末っ子”で、周りについていく事が多いのですが、今回は自分が“お姉さん”である自覚を持って、くれよんメンバーの面倒をよく見ていただきました。『立場が人をつくる』という言葉があるように、今までとは違う立場での経験が人を成長させるのだと感じました。こうした異年齢の関わり合いは、メンバー双方により良い影響を与えます。予告ですが、一月の森のくれよんは、小学生と共に一日出掛ける活動です。縦割りの活動を通して、お互いが更に大きく成長して欲しいと願っています。(生田 千恵)